

チャーライ病院との第 21 回ビデオカンファレンス

12 月 20 日、腎泌尿器外科分野でチャーライ病院(CRH)とのビデオカンファレンスを実施されました。CRH からは腎臓腫瘍に対する腎部分切除のロボット手術、筑波大学附属病院(UTH)からは膀胱全摘のロボット手術がについてそれぞれ発表されました。CRH は年間手術症例が 4 万例を超える High Volume Hospital であり、ロボット手術が導入されて 1 年足らずであるにもかかわらず泌尿器科ロボット手術が約 50 例に達し、順調に症例数を伸ばしていました。参加者は双方とも 15 名程度で、CRH 側からは平成 30 年度医療技術等国際展開推進事業の脳外科耳鼻咽喉科 IVR セミナーでチャーライ病院に派遣中であった医師のうち松村明脳外科教授と秋山稔国際医療センター部長が参加しました。UTH 側は西山博之腎泌尿器外科教授、CRH は Sam 泌尿器科医長を中心に活発な協議が展開され、約 1 時間でカンファレンスは終了しました。



筑波大学附属病院とチャーライ病院の画面



筑波大学附属病院でのカンファレンス風景